

★予防接種を
希望する方へ

定期接種の対象者は、下野市内に住所があり、接種日において65歳以上の方です。

※個人の重症化予防を目的として実施するもので、接種は義務ではありません。

（接種日において60歳以上65歳未満の方であって、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に自己の身の生活活動が極度に制限される程度の障がい有する方及び・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がい有する方も対象です）

新型コロナワクチン予防接種（説明書）

この説明書をお読みにになり、予防接種の効果、副反応や健康被害救済制度などを理解し、医師とよくご相談のうえ、接種を希望するかご判断ください。接種後に普段と変わったことがあった場合には、医師にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症とは

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルスに感染することによっておこる病気です。主な症状は、発熱・喉の痛み・せきなどが中心で、かぜやインフルエンザに似た症状や、嗅覚異常・味覚異常、下痢などが現れることがあります。

ご高齢の方や基礎疾患のある方は、重症化するリスクが高いとされています。

新型コロナワクチン予防接種の効果

ワクチン接種には、発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが国内外の複数の報告で確認されています。なお、既感染者であっても再感染する可能性はあり、また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られことも確認されています。

使用するワクチン

流行の主流であるウイルスの状況やワクチンの有効性に関する科学的知見を踏まえ、毎年国において決定します。令和7年度に使用するワクチンの抗原組成は、WHOの推奨と同様に「1価のJN.1、KP.2若しくはLP.8.1に対する抗原又は令和7年5月現在流行しているJN.1系統変異株に対して、広汎かつ頑健な中和抗体応答又は有効性が示された抗原を含む」こととされました。（R7.5.28 第3回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会研究開発及び生産・流通部会季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの製造株について検討する小委員会）

新型コロナワクチン予防接種の副反応

- ◆ 接種後に接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、ほとんどが軽度又は中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。
- ◆ 頻度は不明ですが、重大な副反応として、mRNAワクチンについては、ショック、アナフィラキシー、心筋炎、心膜炎、組換えタンパクワクチンについては、ショック、アナフィラキシーがみられることがあります。
- ◆ 接種後30分はその場で健康観察をすること並びに接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合は、医療機関の受診が必要です。

※接種に使用されるワクチンは、医療機関により異なる場合がありますので、副反応について医師にご確認のうえ接種願います。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種の副反応により、医療機関で治療が必要になった場合や生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けられる場合があります。予防接種による健康被害が生じた場合には健康増進課までお問い合わせください。

接種における一般的な注意事項

- ◆ 新型コロナワクチン予防接種は、ご本人が接種を希望する場合に接種を行いますので、有効性や副反応等を十分に理解したうえで接種を受けてください。十分に納得できない場合には接種を受けないでください。
- ◆ 予診票は接種をする医師にとって予防接種の可否を決める大切な情報です。基本的には接種を受けるご本人が責任をもって記入し、正しい情報を伝えてください。

予防接種を受けることができない方

- ◆ 接種当日、明らかな発熱（37.5℃以上）がある方。
- ◆ 重篤な急性疾患にかかっている方。
- ◆ ワクチンに含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな方。
- ◆ ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなどの重度の過敏症の既往歴のある方
- ◆ その他、予防接種を行うことが不適当な状態と医師が判断した場合。

予防接種を受ける前に担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ◆ 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等などの基礎疾患のある方
- ◆ 過去にけいれんの既往のある方。
- ◆ 過去に免疫不全の診断を受けた方、及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ◆ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方。
- ◆ ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれのある方。
- ◆ 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症又は凝固障害のある方。

予防接種を受けた後の注意

- ◆ 接種後24時間は健康状態の変化に注意し、観察しておく必要があります。特に接種直後30分以内は急激な健康状態の変化に注意してください。
- ◆ 接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けてください。
- ◆ 接種後、接種局所の異常反応や体調の変化がある場合は速やかに医師の診察を受けてください。医師の診察を受けた場合は速やかに市健康増進課にご連絡ください。
- ◆ 予防接種当日の入浴は差し支えございませんが、接種部位を強くこすることはやめましょう。接種後に体調が悪い時は、入浴を控えることも検討してください。

他の予防接種との関係

- ◆ 新型コロナワクチンと他のワクチンとの同時接種は医師が特に必要と認めた場合に可能です。

（参考）B類疾病予防接種ガイドライン 2025年版（発行：公益財団法人予防接種リサーチセンター）、厚生労働省ホームページ